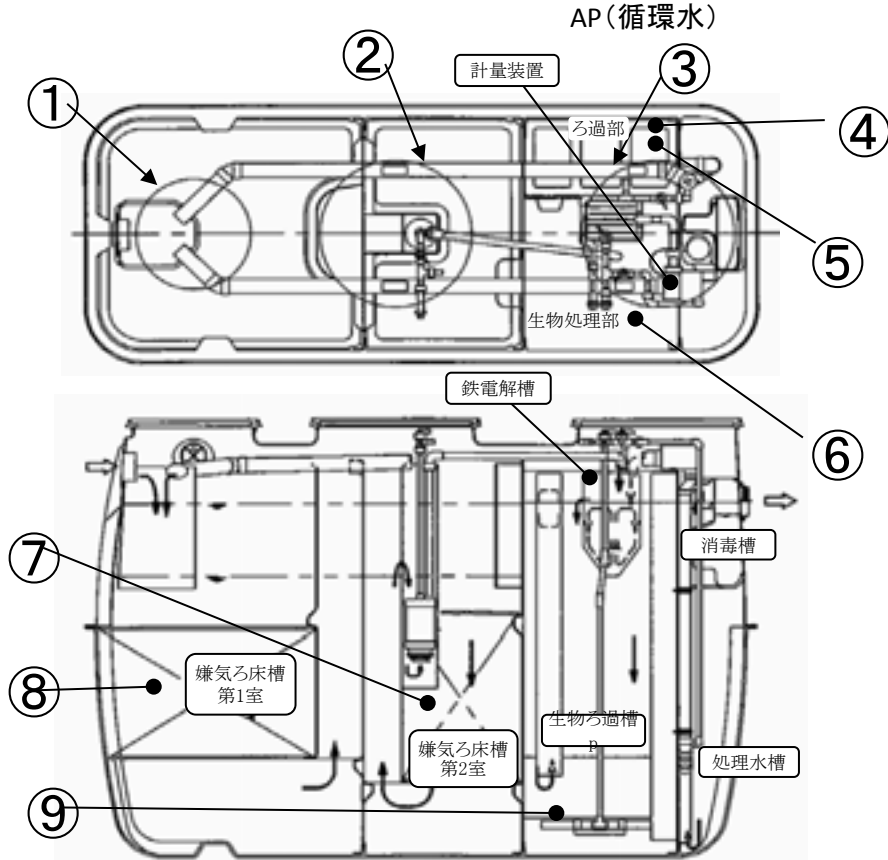
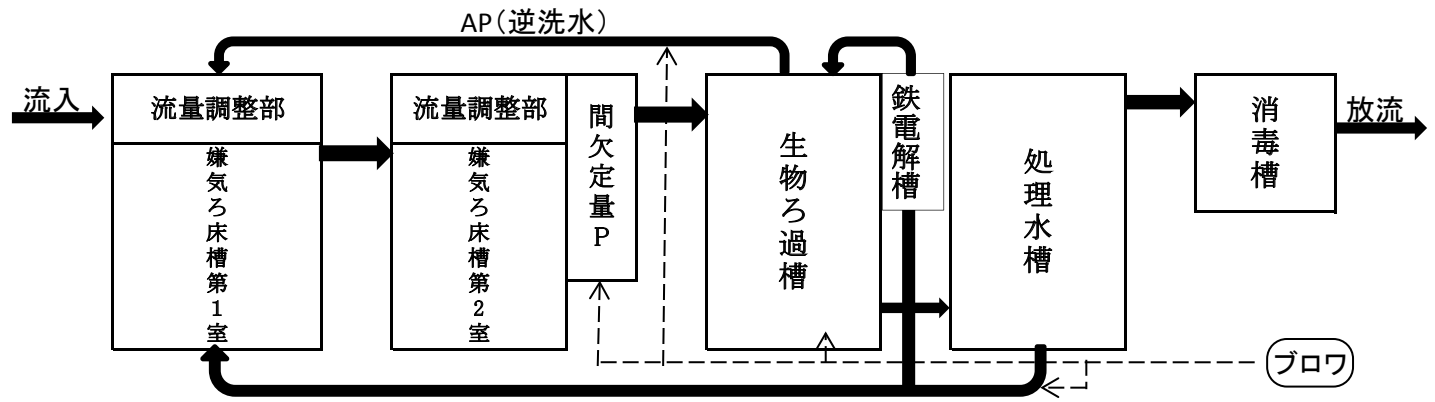


GPX 日本ゼオン(株) OEM: なし 共同開発: VRXP 前澤化成工業(株) :KGCR (株)ハマネツ 処理方式: 流量調整型嫌気ろ床・担体流動生物ろ過方式 にリン除去装置を加えた方式 5・7・10人槽	窒素・リン除去型				全浄協登録値			
	BOD	T-N	T-P	SS				
	20mg/L以下	20mg/L以下	1mg/L以下	—				
	性能評定または性能評価値							
	BOD	T-N	T-P	SS				
20mg/L以下	20mg/L以下	1mg/L以下	15mg/L以下					



- ①嫌気ろ床槽第1室
- ②嫌気ろ床第2室
- ③好気生物ろ過槽
- ④逆洗管
- ⑤中空円筒状担体
- ⑥網様円筒状担体
- ⑦網様円筒状ろ材
- ⑧骨格様球状ろ材
- ⑨散気管

有効容量 (m ³)		5人槽	7人槽	10人槽
槽名	嫌気ろ床槽第1室	0.945	1.645	2.024
	嫌気ろ床槽第2室	0.640	0.803	1.490
	〈流量調整部〉	0.443	0.662	0.925
	生物ろ過槽	0.787	1.180	1.505
	処理水槽	0.248	0.325	0.527
	消毒槽	0.017	0.022	
合計		3.080	4.637	6.493

槽底部からろ材受け面までの距離(mm)	第1室	400
	第2室	300

流量調整装置	流量調整間欠 定量ポンプ	流量調整バルブ開度(%)			循環装置	循環せき Vノッチ	循環バルブ開度(%)		
		5人	7人	10人			5人	7人	10人
有	有	10	11	21	有	有	19	20	23

逆洗バルブ 目盛	逆洗バルブ 開度(%)	リン除去装置	鉄電解攪拌用 バルブ開度(%)
開	60	有	10

人槽	逆洗時間 (分)	逆洗時刻	逆洗回数 (回)	逆洗周期	ブロウ 逆洗時間等
5・7・10	15	2:00	1	1日	2回/日まで可

[人槽に対する流量調整・循環水量・逆洗水量の設定範囲]

人槽	5	7	10
流量調整 移送水量(ℓ/分)	4.4	6.1	8.8
循環水量(ℓ/分)	2.1~3.5	2.9~4.9	4.2~6.9
Vノッチ(mm)	0.7	0.9	1.1
逆洗水量(ℓ/分)	2.7	4.1	5.3

・流量調整移送水量・循環移送水量・逆洗移送水量は、(1)使用水量(日平均汚水量) (2)実使用人員、(3)人槽の優先順位で判断して上記の範囲になるように調整してください。

特 徴

嫌気ろ床槽 第1室、第2室はともに下向流である。第1室は骨格様球状ろ材、第2室は網様円筒状ろ材である。槽の上部には流量調整部を設け、水位が変動する。第2室から生物ろ過槽への流出水は間欠定量ポンプ(吐出水量1回あたり約1.2ℓ)によって移送される。

生物ろ過槽 隔壁によって左右に区分され、消毒槽に向かって右側が生物処理部、中央部分は移流管(清掃口も兼用)左側がろ過部となります。生物処理部は網様円筒状担体が充填されており、常時側面ばっ気攪拌されることでBOD除去及び硝化反応が進行する。生物処理部、ろ過部双方とも下向流となります。移流管(清掃口も兼用)は上向流となります。ろ過部に中空円筒状担体が静置されており、SSが捕捉されます。ろ過部では閉塞防止のためタイマー制御(初期設定は1日1回、AM2時~15分間)にて逆洗を実施し、剥離汚泥を嫌気ろ床槽第1室に移送する。

鉄電解槽 生物ろ過槽の水面付近中央に位置し、巡回水の一部を流入させることによってリン除去がおこなわれる。鉄電極、軽石担体、散気管等で構成されている。

処理水槽 槽内水は上向きに流れ、消毒槽へ流出する。一部の処理水は取水口より循環エアリフトポンプにて嫌気ろ床槽第1室と鉄電解槽へと移送される。

作業時のポイント

保守点検

- 嫌気ろ床槽のスカム厚、堆積汚泥の状況、ろ材の閉塞が無いかを確認してください。流量調整部分水位の形跡(H.W.L・L.W.L)を確認してください。
- 流量調整用間欠定量ポンプのバルブ開度を点検してください。1サイクルの時間と1回あたりの吐出水量を実測し1分当たりの移送水量を確認してください。点検時毎回、空気配管途中のオリフィスを掃除しポンプの洗浄を行ってください。洗浄後は水量を再調整してください。
- 生物ろ過槽の槽内水、流出水の性状及び底部汚泥の堆積状況を点検してください。加えて担体押さえ面を洗浄し攪拌状況を確認してください。槽内水、流出水にSSが多い場合、逆洗不足が認められた場合、逆洗頻度の増加を検討してください。
- 循環用エアリフトポンプはバルブ開度を点検し、調整ゲート高、Vノッチ高も点検してください。移送水量を実測して確認し、洗浄後は水量を再調整してください。なお、計量装置に設置された2つの四角ゲートにおける水位が同じ場合、循環水量を適正に調整することによって鉄電解槽への移送水量が適正となるように設定してください。
- ブロワー(2台設置)の稼働状況を確認時、あわせてブロウのタイマーの現在時刻と自動逆洗の設定を確認してください。

清掃

- 嫌気ろ床槽第1室及び第2室は全量引き抜き、その他単位装置は必要に応じて実施してください。